令和5(2023)年 9月11日発行　第148号

こびとのおうちえん Letter

9月号

フライドポテトをかほふうけいきと作った。おもとにテーブルを出して、皮をむいて、もって、準備する。ていねいにやっている。油をかけて、たき火で火を保つのはむずかしい。低温になる。でも、たき火でやれるからやりたい！とかほはたのもしい。危なくないように注意しながらやっている。火をろんでほどよくなるように見てる。お昼までかかって全部揚げた。ほぼ、かほにおまかせだ。ばっちり！おいしくできてうれしいね！

人のメンバーは、水あそびのできるいりをさがしにおさんぽに出かけた。このまえかほがとびこんであそんだ場所をさゆきがはりきって先頭になっておしえた。ぎんつまりおまりおが「とびこむ。小さい子たちがとびこめる場所かもさがしたそう。

いりにとびこんでびしょぬれになってみなさきもちよさそうに帰ってきた。

8月はこんなことしました

- 年中・長児 金島川でラフティング　・黒岩峡へいく
- 年少児 恐竜公園へいく　・お茶ね(阿波番茶)
- 室積でおよぐ　・梅津の滝にいく
- 神護寺へおさんぽ　・マラソン
- (うさぎとかめごっこ　・セミのぬけがらのふりかけ作り
- フライドポテト作り　・みんなでキッチン(4ページ)
- 赤じそジュース作り　・木工作　・オクラスタンプ
- 水でっぽう(ソース容器)　・えのぐでおえかき。
- 色水あそび(ヤマゴボウ)　・水あそびさんぽ
- 川プール　etc…

9月のスタッフプラン

・おやつづくり

5日(火) おべんとうのひ
根並川であそぼう

12日(火) おにぎりの日
馬島へいこう！

ようとおねがいします。

- 空のおべんとうばこ、はしを持たせて下さい。
- 渡船料 160円も持たせて下さい。

詳しくは、メールをご確認下さいね。

9月のペアレンツグループ

26日(火) 13:00-15:00

場所　もみじのいえ
内容　フィーリング・グループ
　　今の自分を感じる時間
　　＋勇気づけゲーム

参加する方は事前にご連絡下さい。当日でもOKです。

＿＿＿の様子をおしらせします

よしみさんのコーナー

「おかえりー！」

おうちえん14年目のこの夏、いままでになく懐しい顔を沢山見る事ができてとても幸せな時間を過ごしました。おうちえんの夏休み最後の土日に泊まりがけのOBOG会。来たくても来られなかった人もいたけど、1年生から6年生の18人が参加。泊まってはないけど参加を見せに来てくれた高校生もいた。そして4年前までおうちえんのスタッフとして一緒に過ごしたゆーぴーとその子どもおうめ(おうちえんてらこやの卒業生)。そのおうめの呼びかけで実現したてらこや8年目で初めてのOBOG会。どちらも参加して楽しく幸せな時間を過ごした。

前回の時にも感じた事だけど、いい意味で変わらず自分らしさを持ち続けてる子どもたちを見て、よしよし！いいぞ！って嬉しいなぁって、あらためて思う私がいた。

おうちえんを旅立ってた先その学校に通う子、てらこやに通う子、住む地域も通う学校も違ういろんなところから来る子どもたちが、一歩おうちえんに入った途端、顔が変わる。身体も大きくなって顔つきも幼さが消えて成長者しい変化の最中だけど、一瞬のうちに日々一緒に過ごしていた頃の顔になっている。

そして、私と子どもたち一人ひとりの間には時間という壁もなく、すぐに小さな頃に過ごしていた時の様な関係性に戻れる。んー！でも子どもたちが成長してるって事は自分も年を重ねてるって事で、逆に子どもたちに気を遣わせてる(優しくされてるって感じる)のに嬉しい反面少し複雑な気分なんだけど…。

まあそれは置いといて、みんなとてもリラックスした表情で、自分らしくやりたい事をして楽しい時間を過ごして、またそれぞれ自分の場所に戻って行く背中を見送った。

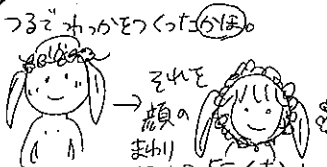
その後ろ姿を見て思ったのは、子どもたちや送り出してくれている親御さんにとっての心の場所が、変わらないままでいることだと。(変わらないとは、大切にしたいと思っている部分のことで、進化を止んでいるのとは違うんです)

そして、この場所で、おかえりと迎え入れて、いってらっしゃいと送り出せるような自分で居たいなぁと。

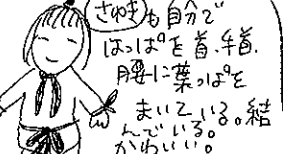
その時々に集う大人(保護者やスタッフ)と子どもがいくつ過ごす中で培われた信頼関係と安心感で場が出来ていると思っていて、それが日々重なり1年となり年々つながってきて今になっていて、これから先も同じ様につながっていく中のひとりとして今もおうちえんという場所で、人の成長のとても大切な「自分」という根っこを伸ばしていく時期に関われる喜びと、緊張を持ちながら私なりに子どもたちと向き合い、自分の至らなさに頭を抱えたり、目まぐるしい成長を見せてもらって喜びをもらう日々をまだもうリし続けたいと強く思った夏でした。

岡部 吉美

つるでわっかをつくったかほ。



それを顔のまわりにして「ライオン」



さゆきも自分ではっぱを首、手首、腰に葉っぱをまいている。結んでいる。かわいい。

しおもあたまと首にかざり

いろんなところに巻きたい人たち。

かわいい。くびにもはっぱ。ネックレス。

そして、さいごにはかほの頭のわっかは、腰に移動していた。

おもうよくおだやかな室積の海。満ちていて海の中に浮かんでるのがきもちいい。かほしょうまと泳ぐ。魚(ギス)の大群がいっぱい見れた。魚をおいかけて泳ぐ。バコメガネで魚をみる子もいる。さざうなどりはゆずき。今日も(あしボウの赤ちゃんでいっぱいとったから)しょうまはとりたいと狙っている。めずらしい黄色のかにをまおうが見つけた。石や流木をふのもたのしげ。かほ(小)は、足をつめてもらっている。人魚の形に。

朝やりたいことをきくと「川プール!!」なのだ。いつも。だけど、川プールは、朝はお日さまもあたらず、冷たい。そして、メンバーは、ほぼ川に入らず、上であそんでる。そのはだかんぼであそんでる姿もけっこういいなーとも思うのだけど、今日、みんなに昼から川プールをおもいきりやるのはどう？とすすめるけど、やっぱり朝いちで川プールしたい子どもたちなのである。

これ、ずっと。

そして、今日どうやってすごしてたかというと、やっぱりちょこっと泳いだあとは、ほぼ上で、草やはっぱを使ってあそぶ。いろいろ思いついて遊んでてたのしそうだった！ (8/27)

よしみさんのところからよっこのところにむかって泳いでくる。さゆき。さゆきがこっちまで来たところで、よっこが起こして(さゆき)をふって(ゆらして)みる。そしたらさゆきの笑いが止まらない。よっこがふるのを止めると笑いも止まって、またよしみさんのところへ泳いでかえる。また泳いでくる。また体をふる。(ゆらす)そしたら、大笑いする。それをみてまりも笑いが止まらなくなる。うたが笑っている。かほも笑っている。たくさん大笑いしたら、さらに元気がでる。まりはさゆきを「笑う神様」と名付けた。pm さゆきは舟からとびこみ。舟のサイドに立ってとびこみを何回もしてた。超元気！

あとから、さゆきが「ふるのべたのしかった♪」と伝えに来た。(8/24)

朝、にわとり小屋の上の方にあるブルーベリーをみんなでとりにいって食べた。久しぶりにこどもたちの顔をみたエン(ヤギ)ば何回も鳴いている。

しょうまが父母のオクラとりを手伝ってくれた。途中でよっこが吐かれたからゆうまに全てを委ねた。しょうまは、とれる分をとって、いけこをもとの場所にもどし、オクラのわったかごをキッチンにもっていった。何も言わなくても自分で判断してうごいてた。そんなひとつひとつの変化がうれしい。(8/22)

よっこのちょこっとおうちえん日誌～日々のあれこれ～